

# 西南学院小学校 学校長メッセージ

## 「学校通信 Wings 2024年9月号」

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しくつくられた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。  
(コリント人への手紙Ⅱ 5：17)

台風の接近のため、8月29日・30日が休校となりましたが、皆様方には被害はなかったでしょうか。校庭の木々も今回は一本も折れたり倒れたりしていませんでした。体育館天井の工事もまだ終了していませんでしたが、そちらも問題がない状態でした。守られたことに感謝です。

新学期のスタートが9月2日からとなり、少しだけ長い夏休みとなりました。登校時の元気な挨拶に充実した夏休みを過ごしたのだなと分かる子どもたちもいれば、久しぶりの学校に(行くのが億劫だな…)と感じているような疲れた表情の子どもたちもいました。また、「宿題全部終わっていないかも…」と教えてくれた子どもたちもいました。熱くて長い休み明けは、大人でも生活のリズムを取り戻すことが難しくなります。十分な休息と睡眠の確保をどうか宜しく願いいたします。

本日の始業式では、以下のようなメッセージをいたしました。

学校生活の節目節目で、「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しくつくられた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。(コリント人への手紙Ⅱ 5：17)」というみ言葉を伝えてきました。覚えているでしょうか。

1学期の終わりに、5・6年生の希望する保護者の方80名近くいらしたのですが、お一人おひとりとお会いしてお話することができました。その時に、今紹介したみ言葉を聞いて

「『そうか、私は新しくなったんだ。今から変わる。今までとは違う新しい私になる。』とって毎日の生活ががらっと変わって頑張り始めたんです。」と教えてくださった方がお二人いらっしゃいました。

お話を聞いて実行したら本当にぐんと成長したのですね。

今日のお話のはじめに「節目」という言葉を使いましたが、節目とはどういうことか知っていますか。竹の節目が分かりやすいと思うのですが、木の節目から転じて「区切りとなる大切なところ」という意味になったのだそうです。また、竹のすべての節目には成長点があるということです。今日から二学期が新しくスタートします。皆さんにとって大切な節目の時、ぐんと成長する時になることを願っています。

教室の机も椅子も新しくなりました。気持ちがいいでしょう。あなた自身も新しく変わるときです。新しくなった自分を元気に気持ちよくスタートさせましょう。これから本当に楽しみです。

忘れてはいけないのは、み言葉のはじめにあったように「だれでもキリストのうちにあるなら」ということです。あなたとともにいてくださる神様に祈り、ともにいて成長させてくださる神様に感謝しましょう。

さあ、新しい成長のスタートです！ (一部抜粋)

※ 台風のため8月30日に予定されていたソーシャルワーカーの豊福先生が開かれる「ホットとチョット Café」が延期になりました。9月11日(水)に先生は来校されます。カフェに参加予定の方以外でも、お話をしたいという方は、事前に学校にご連絡いただければと思います。

※ 一学期末にしか行うことができなかったが、保護者の方とお会いしてお話するのは、ご連絡をいただければ、二学期にも行いたいと思っていますのでお知らせください。二学期はどの学年の方でも大丈夫です。校長室は、何か問題があったときだけに来ていただくという場所ではありませんので、遠慮なくお知らせください。一学期は、「校長室に入って見たかった。」ということで、希望された方もいらっしゃいました。

(文責 黒木佐幸)